

政策会議		出席者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 副市長	3 担当課が考える方向性
日時	令和3年6月3日		総合政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 部長 <input checked="" type="checkbox"/> 副部長	
場所	市役所4階ミーティングルーム		総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 部長 <input checked="" type="checkbox"/> 副部長	
作成者	資料 別添のとおり		健康増進部 <input checked="" type="checkbox"/> 部長 <input checked="" type="checkbox"/> 副部長 <input checked="" type="checkbox"/> 国民健康保険課長	
会議録	総合政策部副部長			
議題	国保データヘルス計画中間評価について			
1 現状				
<p>データヘルス計画は、平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」の施策方針に基づき、医療及び健診データ等の分析を行い、国保加入者の健康保持増進におけるPDCAサイクルに沿った効果的な保健事業を実施するために策定した実施計画である。</p> <p>「第2期データヘルス計画」は、平成30年度から令和5年度を計画期間として、平成29年度末(2018年3月)に策定したものであり、この冊子はその「第2期データヘルス計画」について、令和元年度までの実績数値や令和2年度中に実施した医療費分析結果を反映させたものである。（添付資料「令和元年度までの実績」より）</p>				
2 課題				
<p>【1】 特定健診の受診率は35%前後と横ばいであり、生活習慣病の早期発見・早期治療が遅れる可能性がある。引き続き、特定健診の受診率向上に向けた取り組みが必要である。</p> <p>【2】 特定保健指導の実施率がまだ低い水準であるため、生活習慣病の悪化の可能性はある。特定健診だけでなく保健指導を受けることの大切さを、市民に引き続き周知する必要がある。</p> <p>【3】 LDLコレステロール値において、有所見者割合は減少している。しかし健診項目のなかでも県平均をいまだに大きく上回る項目であり、脂質異常症における医療費も高い。生活習慣の改善や医療機関への受診の大切さを、市民に引き続き周知する必要がある。</p> <p>【4】 人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在する。早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、糖尿病性腎症の悪化を遅延させる必要がある。</p> <p>【5】 県の数値と比較した際、高齢化率の割には比較的一人当たり医療費は抑えられているが、高齢化が進むことで一人当たり医療費が増加していくことが見込まれる。今後も健康増進や適正受診を中心とした取り組みを進めて、医療費の適正化に取り組んでいく必要がある。</p> <p>【6】 疾病別統計に目を向けた際、医療費、患者一人当たりの医療費ともに「新生物&lt;腫瘍&gt;」が最も高くなっている。早期発見により重症化を予防することでがんにかかる医療費を減少させていく必要がある。</p> <p>【7】 運動習慣のある人が県平均より高いにもかかわらず、20歳時体重から10kg以上増加している人が県平均を上回っている。食や運動等、生活習慣の改善に関する案内が必要である。</p> <p>【8】 特定健診の項目で、高血圧で基準値を超えている人の割合が多い。また中分類の統計においても、高血圧症の医療費と患者数が多くなっている。特定保健指導の利用や広く食などの生活習慣改善に向けた呼びかけが必要である。</p>				
4 結論				
<p>添付の「令和元年度までの実績」、「川西市国民健康保険 第2期データヘルス計画 中間評価」を原案どおり議会で報告し、公表する。</p>				